

地域とともに歩み地域に信頼される開かれた 学校づくりに向けてと課題

～大網高校と地域の協働活動が支える大網駅高架下壁画リニューアルプロジェクト～

千葉県立大網高等学校

1 学校概要

本校はJR大網駅から徒歩13分と利便性が良い場所にあります。本校には普通科と農業科、生物工学科、食品科学科の4学科があり、約480人の生徒は、明るく素直で、元気に勉学や実習に励んでいます。国語、数学、英語は少人数授業を取り入れ、「わかる授業」を推進し、基礎学力の向上を目指しています。生徒の約50%は就職し、地域の産業を担っています。

2 大網駅高架下壁画リニューアルプロジェクト

12年前に山武農業高校と白里高校の統合を機に、生徒やPTAが中心に描いた大網駅高架下壁画をリニューアルするプロジェクトとして、今回は、生徒延べ400人、PTAや地域の方々延べ50人が協働活動として取り組みました。

まずは、地域を学校の応援団として捉え、世話役のコーディネーター的な団体と連携。連携が連携を呼ぶ形で支援の輪を大きくしていきました。学校も輪の一部として機能し、下絵作成や描画を主な業務とすることで、教員の負担を軽減することができました。特に、駅を利用する通行人の誘導は地元の防犯パトロールのみなさんに、危険な高所の作業は地元の専門家に協力していただき、得意分野を生かして安全に作業を進めることができました。

これらの取り組みは、千葉日報社新聞に掲載され、ケーブルテレビでも放映されました。さらに、活動報告書の配布やメールマガジンへの掲載などの広報活動も世話役の団体に担っていただき、広く地域へ活動のPRをすることができました。

この取り組みに参加した生徒からは、「暑く大変だったけれどオリンピックイヤーのいい思い出になった」「通行人にお疲れ様と声を掛けられてうれしかった」「いつの日か自分の子供にも自慢したい」など、感動の声が多く上がっています。

保護者や地域の方々からは「大網駅の新しいシンボルになって欲しい」「多くの団体からの協力があってこそ成功できた」「次は何をしようか」などといった反響が出ています。

また、大網駅構内の掲示板を、学校の活動を紹介するコーナーとして利用できることになり、生徒の学習成果発表の場として情報発信につなげています。



3 地域の連携とキャリア教育

地域との連携活動として、生徒が農業系学科で生産した農産物や加工品を地域産業祭で販売し、お客さんに喜ばれたり、食育活動を通じて生徒が小学生と交流し感謝されたりすることで、生徒の学びの自信につなげています。

その他にも、ボランティアで大網駅前美化活動として草花の植栽やゴミ拾いに参加し、自己肯定感を高める機会としています。

今後は、生徒のボランティア活動やキャリア教育の場として、地域学校協働活動を推進し、学校と地域がWIN-WINの関係を築き、生徒の生きる力を育むことを目的に、これらの取り組みを発展させていきたいと思っております。

本校は、これからも地域とともに歩み、地域に信頼される開かれた学校づくりに向けて積極的に取り組んでまいります。